

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月

日本ケミコン株式会社

東証プライム 証券コード:6997

I. 2026年3月期 第2四半期 連結業績概要

II. 2026年3月期 通期連結業績見通し

III. Appendix

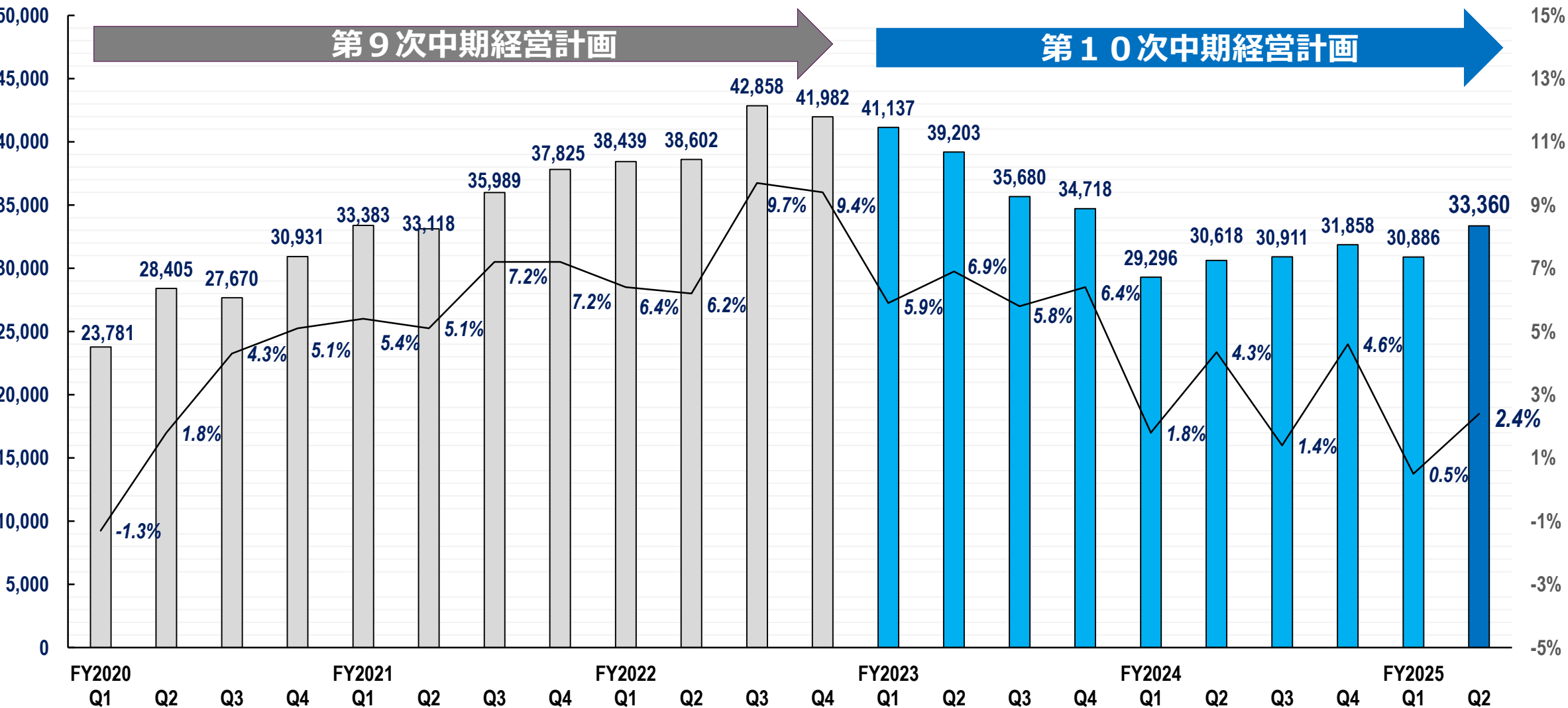
2026年3月期 第2四半期 売上高・営業利益率推移

売上高

単位：百万円

売上高・営業利益率推移

営業利益率(%)



I . 2026年3月期 第2四半期 連結業績概要

2026年3月期 上期 連結業績実績（前年同期比）

車載、産機市場の回復が遅れる中、AIサーバー等の増加でICT市場が堅調に推移

単位：百万円、%

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	上期実績	上期実績	増減	増減%
売上高	59,914	64,246	+4,331	+7.2%
営業利益	1,850	956	-893	-48.3%
売上高比率	3.1%	1.5%	-1.6pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	78	269	191	-
売上高比率	0.1%	0.4%	+0.3pt	-
設備投資	5,218	3,812	-1,405	-26.9%
減価償却費	3,285	3,297	+12	+0.4%
研究開発費	2,056	2,002	-53	-2.6%
平均為替レート USドル(円)	152.63	146.04	4.3%円高	

2026年3月期 上期 連結業績のポイント

2026年3月期 上期決算のポイント

売上高

64,246百万円

前年同期比 +7.2%

営業利益

956百万円

前年同期比 ▲48.3%

親会社株主に帰属
する当期純利益

269百万円

◇ 売上高（市場動向）

◆ 車載市場

米国関税の影響で先行き不透明感は続いたが、部品在庫の適正化が進み、受注は改善の方向。

◆ 産機市場

市場の底打ち感はあるが、本格的な設備投資には至らず回復は2025年度下期以降となる見込み。

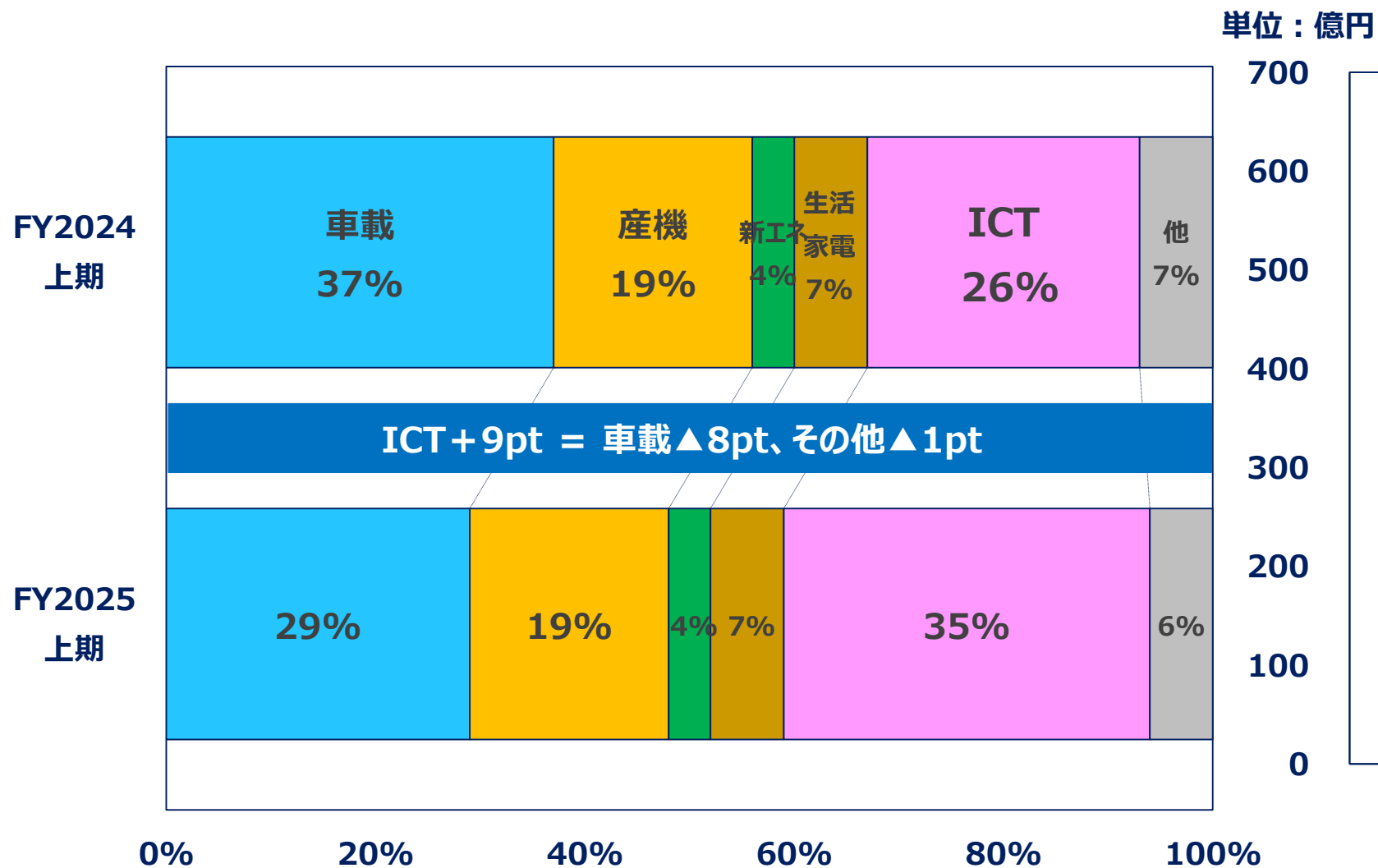
◆ ICT市場

データセンタ向けサーバー需要が引き続き増加し、堅調。
（AIサーバーの需要拡大）

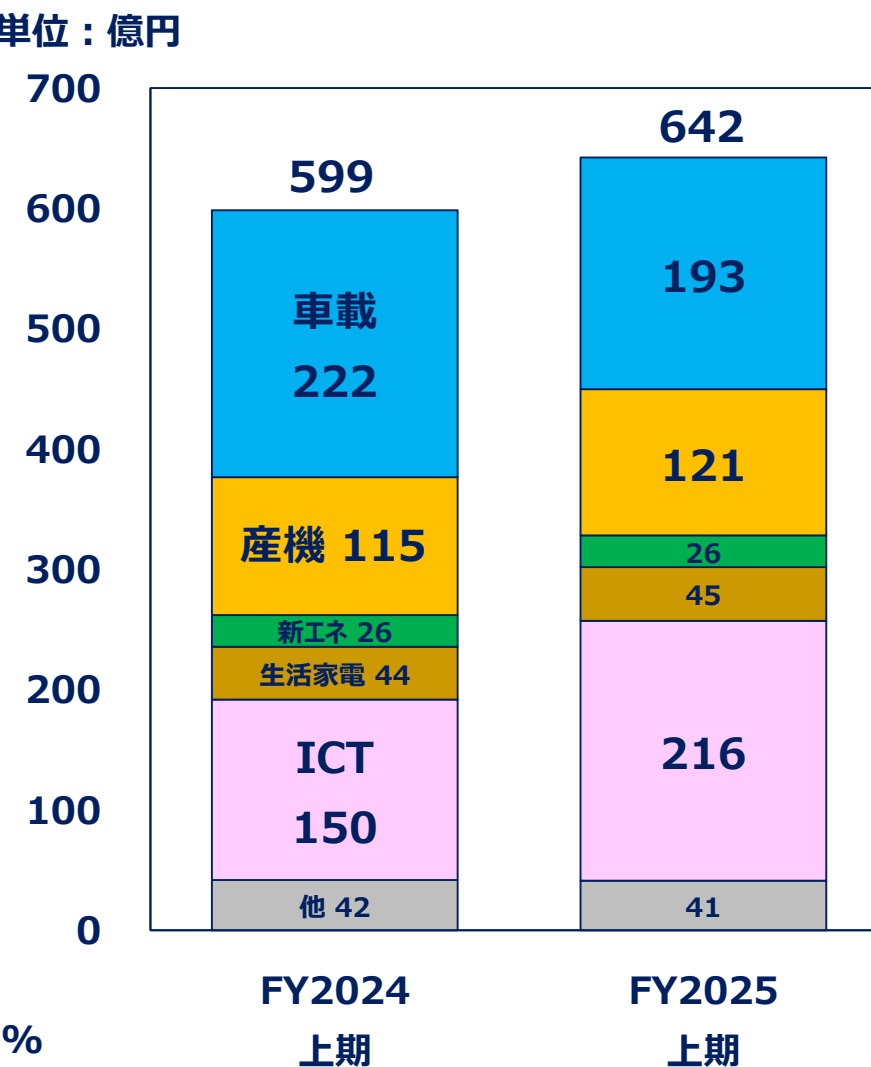
◇ 営業利益

◆ 円高傾向、材料価格の高騰、製品ミックスの変化などにより、前年同期比48.3%の減益。

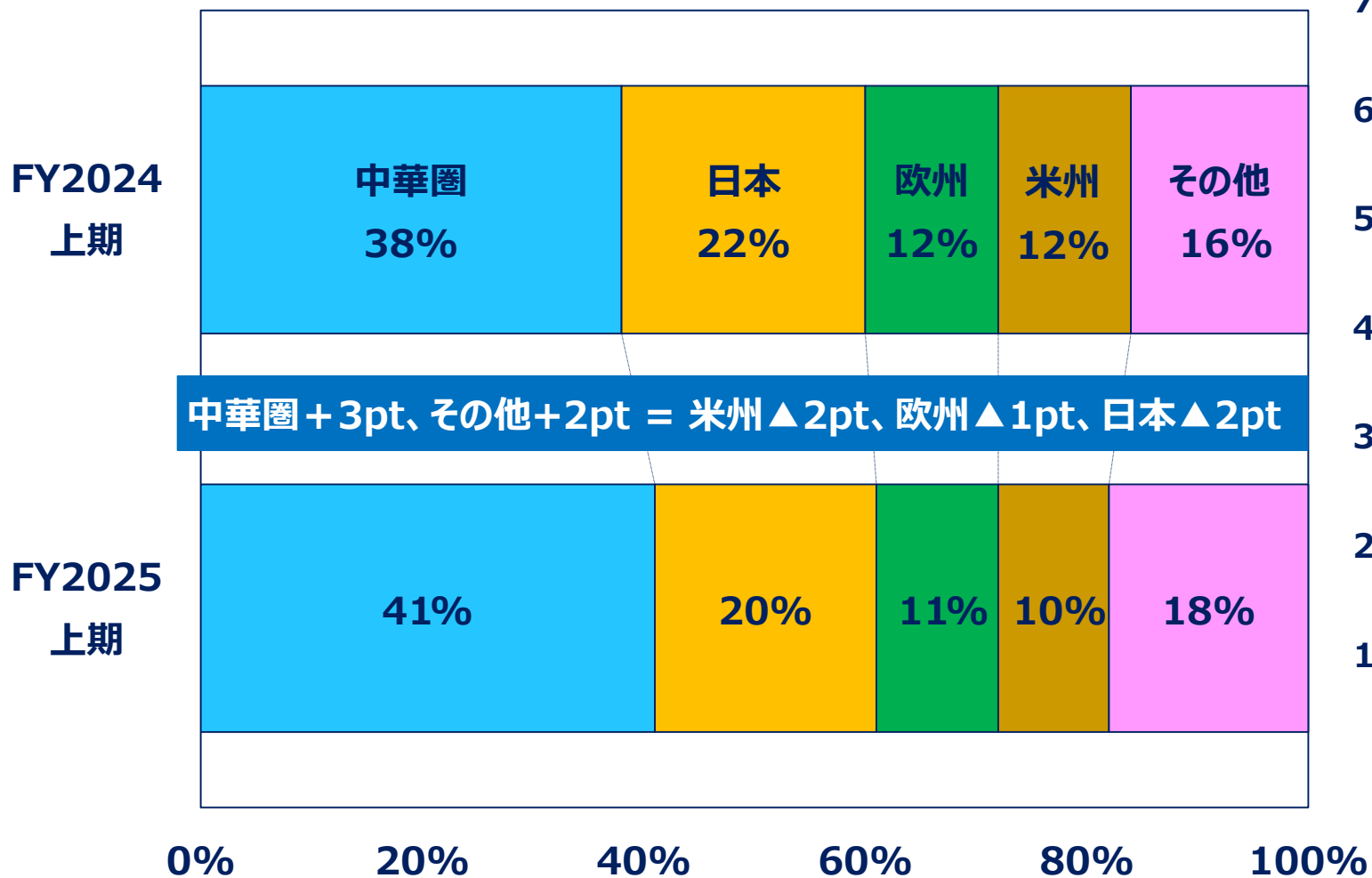
市場別売上高構成比推移



市場別売上高推移

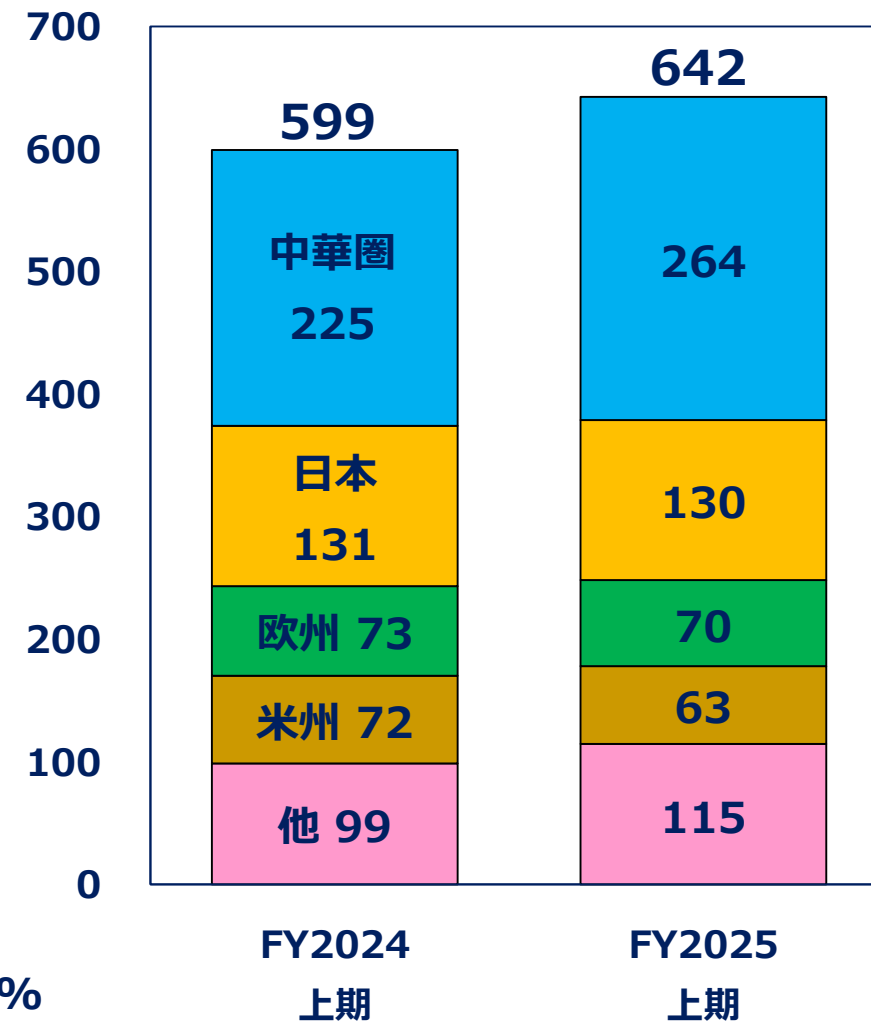


地域別売上高構成比推移



地域別売上高推移

単位：億円



2026年3月期 上期 営業利益増減内容（前年同期比）

単位：億円



2026年3月期 種類株式について

■ 種類株式に関するプレスリリース推移

リリース日	リリース内容																											
2025年3月10日	✓ 2026年3月期以降の転換制限解除が1年前倒しになった ✓ 「2025年3月期中計営業利益110億円を20%下回る事が確実に見込まれる場合 又は下回った場合」に該当																											
2025年9月17日	✓ JISによるB種種類株式の普通株式を対価とする取得請求権が行使された																											
2025年10月28日	<table><tr><th></th><th>行使株数</th><th>払込金額</th><th>プレミアム</th><th>修正取得価額※1</th><th>交付普通株式</th></tr><tr><td>2025年9月17日</td><td>363株</td><td>363百万円</td><td>1.415</td><td>513.6百万円</td><td>1,025.4</td><td>500,921株</td></tr><tr><td>2025年10月28日</td><td>362株</td><td>362百万円</td><td>1.415</td><td>512.2百万円</td><td>1,025.4</td><td>499,541株</td></tr><tr><td>合計</td><td>725株</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,000,462株</td></tr></table> ※1 2025年6月30日前20日間のVWAP平均値の90%		行使株数	払込金額	プレミアム	修正取得価額※1	交付普通株式	2025年9月17日	363株	363百万円	1.415	513.6百万円	1,025.4	500,921株	2025年10月28日	362株	362百万円	1.415	512.2百万円	1,025.4	499,541株	合計	725株					1,000,462株
	行使株数	払込金額	プレミアム	修正取得価額※1	交付普通株式																							
2025年9月17日	363株	363百万円	1.415	513.6百万円	1,025.4	500,921株																						
2025年10月28日	362株	362百万円	1.415	512.2百万円	1,025.4	499,541株																						
合計	725株					1,000,462株																						

■ 当面の間、JIS（当社プレスリリースより）の方針として以下の口頭説明を受けている ※25年3月時点

①	本種類株式について第三者に譲渡することはない方針である
②	A種種類株式 当面の間、取得請求権行使の予定はない（※2026年4月より金銭対価取得請求権が発生）
③	B種種類株式 企業価値向上と株式価値の最大化を目指すことで得られるキャピタルゲインを目的とし、JISファンドが適切と判断した時点で、段階的に取得請求権を行使して当社の普通株式を取得した上で、市場で売却する想定

Ⅱ. 2026年3月期 通期 連結業績見通し

2026年3月期 通期 連結業績予想

産機市場の回復とICT、車載市場向け部品需要の拡大にともない増収

単位：百万円	2025年3月期	2026年3月期				
	通期実績	上期実績	下期修正計画	通期修正計画	増減	増減率
売上高	122,684	64,246	72,753	137,000	+14,315	+11.7%
営業利益	3,740	956	3,043	4,000	+259	+6.9%
営業利益率	3.0%	1.5%	4.2%	2.9%	-0.1pt	-
当期純利益	37	269	1,230	1,500	+1,462	-
ROE	0.1%	0.5%	-	2.7%	+2.6pt	-
設備投資	7,631	3,812	1,487	5,300	-2,331	-30.6%
減価償却費	6,640	3,297	3,202	6,500	-140	-2.1%
研究開発費	4,228	2,002	2,197	4,200	-28	-0.7%
為替レート US \$ (円)	152.58	146.04	145.00	145.52	4.6%円高	

2026年3月期 通期 連結業績見通しのポイント

2026年3月期決算のポイント

売上高

137,000百万円

前年比 +11.7%

営業利益

4,000百万円

前年比 +6.9%

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,500百万円

前年度 37百万円

◇ 売上高

*車載市場：米国関税政策などの影響がある中、顧客部品在庫水準の適正化が進み、市場は2026年度に向けて回復していく見込み。

*産機市場：米国の関税政策や地政学リスク等により、先行き不透明な状況が継続し、市場の回復は当初想定よりも緩やかに進む見込み。

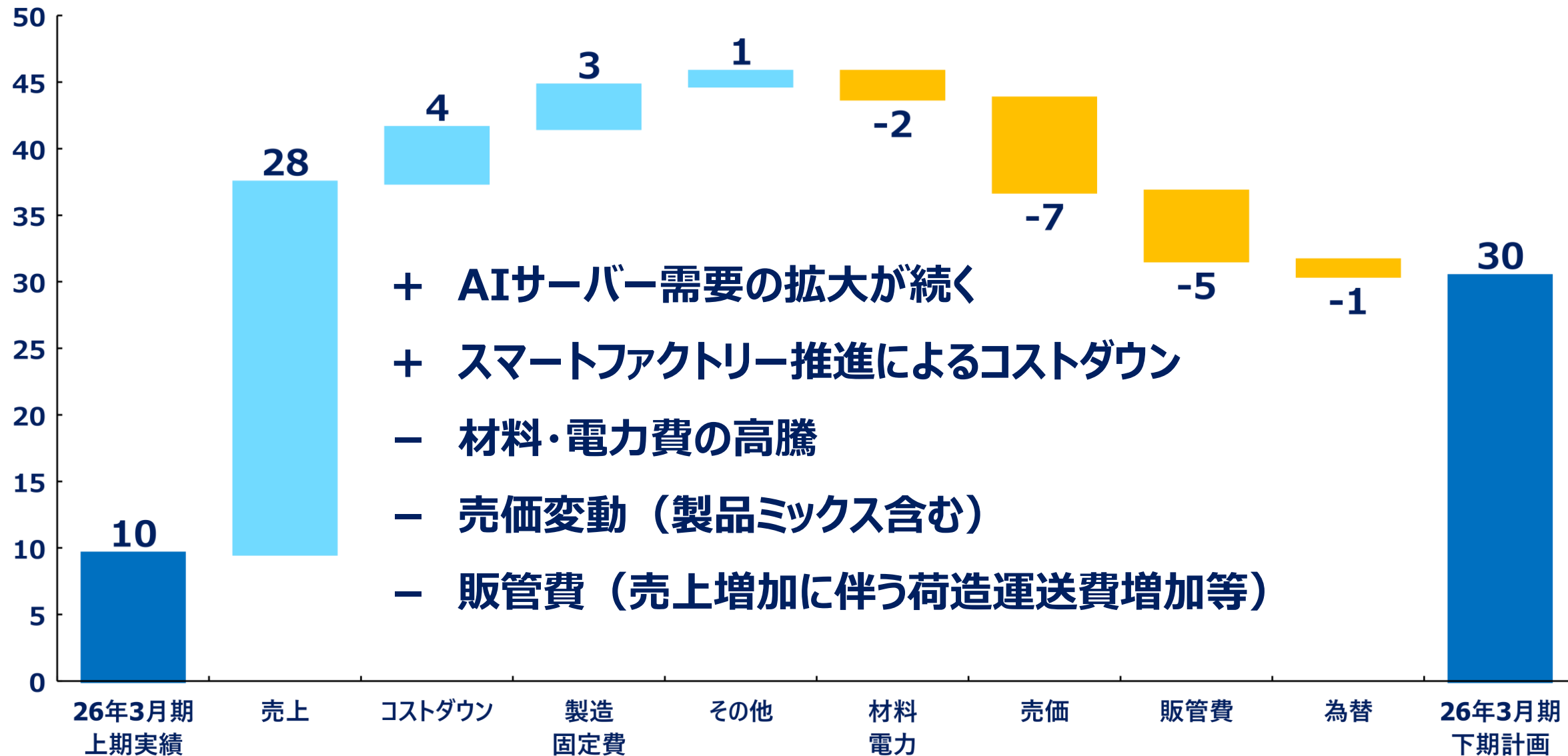
*ICT市場：米国IT大手を中心にデータセンター向け投資が引き続き堅調な見通し。AIサーバー向けに高付加価値品の需要増を見込む。

◇ 営業利益

*車載、産機市場の回復が想定よりも緩やかであったが、堅調なICT市場の売上貢献により、営業利益は前年度比+6.9%増益の見込み。

2026年3月期 下期予想 営業利益増減内容（上期比）

単位:億円



成長戦略：データセンター向け製品ラインアップ

サーバー給電ライン全体に対応する幅広いラインアップ
アルミ電解、ハイブリッド、導電性の全製品カテゴリーで液浸対応可能

アルミ電解コンデンサ

電源

IBC

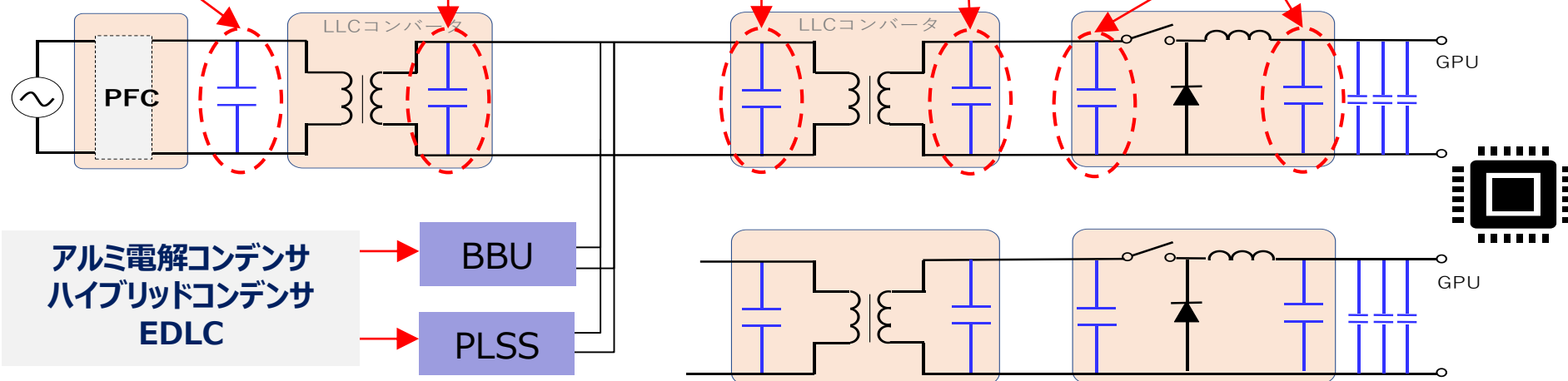
アクセラレータ

アルミ電解コンデンサ

ハイブリッドコンデンサ

導電性高分子コンデンサ

導電性高分子コンデンサ



IBC : Intermediate Bus Converter BBU : Battery Backup Unit PLSS : Peak Load Shaving Shelf

成長戦略：データセンター市場向けアルミ電解コンデンサ需要の拡大

①データセンター投資拡大による需要増

サーバー台数増加

→ 一般向けサーバー、AIサーバーともに台数拡大

処理能力高度化によりGPUの消費電力と数量増加

→ 電力保持、ノイズ対策などでコンデンサ需要増

→ 関連回路の増加、高度化により部品需要増

②当社アルミ電解コンデンサの優位性

データセンター向け部品のプライオリティは製品信頼性(※OCPより)

→ 電源/車載メーカーへの高信頼性製品の長期取引実績

※OCP(Open Compute Project)：データセンターの設計を標準化・効率化する国際プロジェクト

消費電力は増加するがラック内スペースに制限がある

→ コンデンサはサイズ容量に優れたアルミ電解タイプが有利
(ハイブリッドコンデンサ、導電性高分子含む)

→ 高容量を実現する技術を強化

AIサーバー技術ロードマップをもとに必要なコンデンサ容量を当社試算

GPU世代	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027
電源出力kw (FY2024を100とした指数)	100	200	600	800
電源出力電圧V	12V	48V	48V	800V
コンデンサ容量μF (FY2024を100とした指数)	100	400	2800	3800

成長戦略：車載市場への取り組み

車載用途とデータセンター用途の技術トレンドは共通傾向 新製品開発に相乗効果

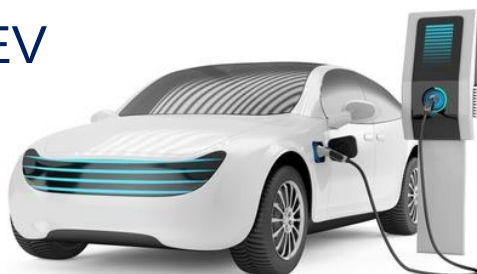
CASEの進展により電子部品需要は今後も拡大を見込む

- 高耐熱、高信頼のハイブリッドコンデンサ
- 新規開発のアルミ電極箔を採用した高容量化製品
- 車載品質に対応したEDLC

データセンター向け横展開
コンデンサへの要求使用は共通

- 48V対応
- 高信頼
- 大容量
- 電流負荷平準

EV



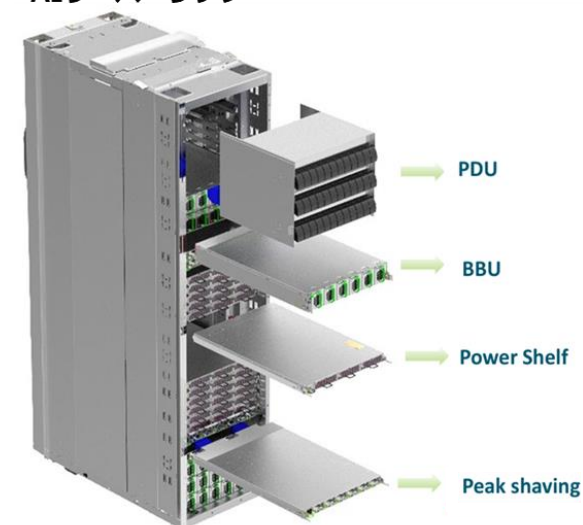
SDV



ADAS

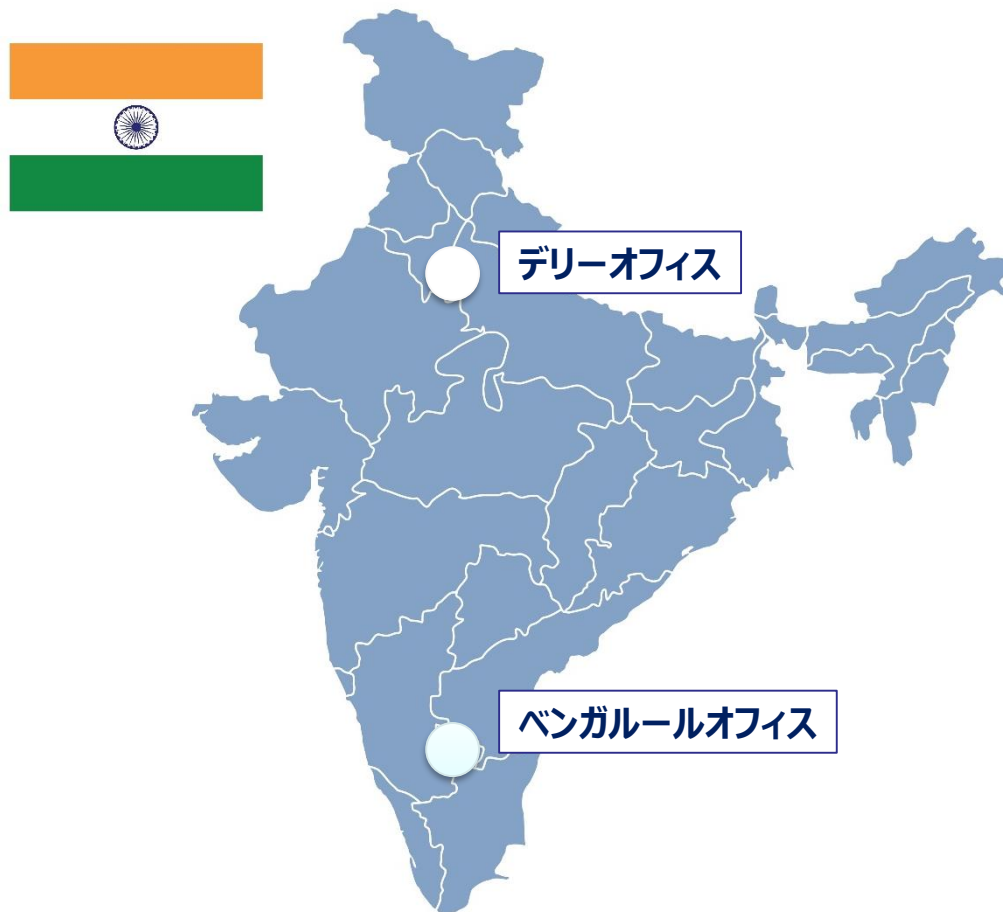


AIサーバーラック



Open Compute Project.orgより

CHEMI-CON ELECTRONICS(INDIA) PRIVATE LIMITED 開設 市場規模拡大が期待されるインド市場への販売強化



2拠点から幅広いエリアをカバー

’25/10 デリー（メインオフィス）

’25/11 ベンガルール（ブランチオフィス）

インドローカルメーカーへの拡販

車載、産機、新エネルギー市場など成長分野に期待
国家プログラムに関連した需要拡大をキャッチアップ
高性能、高信頼、長寿命の強みを活かしたニーズ対応

顧客エンゲージメントを強化するサポート体制

現地法人化による迅速な技術フォロー
シンガポール、マレーシアなど他拠点からの顧客サポート
グローバルのプロジェクト体制によるSCMサポート

Ⅲ. Appendix

2026年3月期 上期 製品別売上高実績（前年同期比）

データセンター需要（AIサーバー含む）の増加により、アルミ電解コンデンサ増収

単位：百万円、%

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	上期		上期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
アルミ電解	51,717	86.3%	56,099	87.3%	+4,382	+8.5%
内 導電性	9,943	16.6%	10,706	16.7%	+762	+7.7%
DLCAP™	1,921	3.2%	1,852	2.9%	-68	-3.6%
セラコン・バリスタ	1,260	2.1%	1,263	2.0%	+3	+0.3%
機構その他部品	1,712	2.9%	1,575	2.5%	-137	-8.0%
コンデンサ材料	2,750	4.6%	2,657	4.1%	-92	-3.4%
その他	553	0.9%	797	1.2%	+244	+44.2%
合計	59,914	100.0	64,246	100.0%	+4,331	+7.2%

2026年3月期 通期 製品別売上見通し

産機市場の回復とICT、車載市場向け部品需要の拡大にともない増収

単位：百万円	2025年 3月期実績	2026年3月期				
		上期実績	下期修正計画	通期修正計画	前年比 増減	前年比 増減率
アルミ電解	106,114	56,099	65,000	121,100	+14,986	+14.1%
内 導電性	20,306	10,706	11,893	22,600	+2,293	+11.3%
DLCAP™	3,751	1,852	1,747	3,600	-151	-4.0%
セラコン・バリスタ	2,452	1,263	1,336	2,600	+147	+6.0%
機構その他部品	3,441	1,575	1,524	3,100	-341	-9.9%
コンデンサ材料	5,703	2,657	2,542	5,200	-503	-8.8%
その他	1,220	797	602	1,400	+179	+14.7%
合計	122,684	64,246	72,753	137,000	+14,315	+11.7%

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承ください。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一、何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。